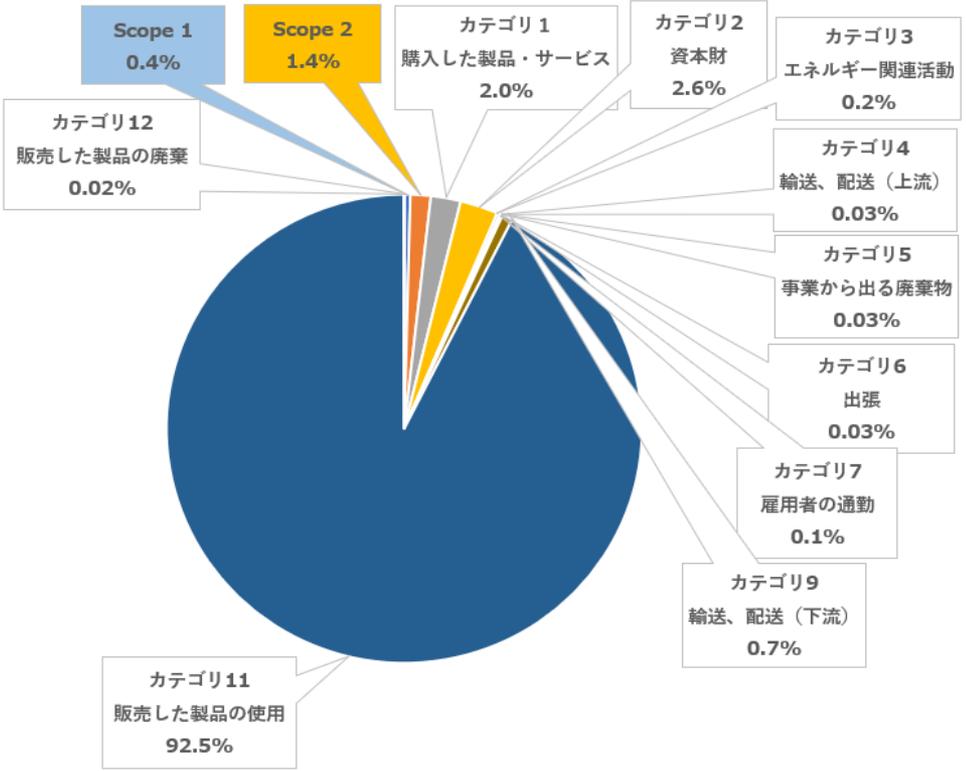


株式会社SCREENホールディングス

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：電気機器● 事業概要：半導体製造装置事業、グラフィックアーツ機器事業、ディスプレイ製造装置および成膜装置事業、プリント基板関連機器事業など● 事業規模：売上高3642億円、連結従業員数6,099名
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：2030年に2018年比で30%削減 取り組み：クリーンルームのエネルギー効率向上</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：Scope3カテゴリ11：2030年に2018年比で20%削減 取り組み：製品のエネルギー効率向上</p>

株式会社SCREENホールディングス

項目	内容																																								
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 11,617 [tCO2] 																																							
	 <table border="1"> <caption>GHG Emissions by Category</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Description</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Scope 1</td> <td></td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>Scope 2</td> <td></td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>Category 1</td> <td>購入した製品・サービス</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>Category 2</td> <td>資本財</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>Category 3</td> <td>エネルギー関連活動</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>Category 4</td> <td>輸送、配送（上流）</td> <td>0.03%</td> </tr> <tr> <td>Category 5</td> <td>事業から出る廃棄物</td> <td>0.03%</td> </tr> <tr> <td>Category 6</td> <td>出張</td> <td>0.03%</td> </tr> <tr> <td>Category 7</td> <td>雇用者の通勤</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>Category 9</td> <td>輸送、配送（下流）</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>Category 11</td> <td>販売した製品の使用</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td>Category 12</td> <td>販売した製品の廃棄</td> <td>0.02%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Description	Percentage	Scope 1		0.4%	Scope 2		1.4%	Category 1	購入した製品・サービス	2.0%	Category 2	資本財	2.6%	Category 3	エネルギー関連活動	0.2%	Category 4	輸送、配送（上流）	0.03%	Category 5	事業から出る廃棄物	0.03%	Category 6	出張	0.03%	Category 7	雇用者の通勤	0.1%	Category 9	輸送、配送（下流）	0.7%	Category 11	販売した製品の使用	92.5%	Category 12	販売した製品の廃棄	0.02%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 38,949 [tCO2]
	Category	Description	Percentage																																						
Scope 1		0.4%																																							
Scope 2		1.4%																																							
Category 1	購入した製品・サービス	2.0%																																							
Category 2	資本財	2.6%																																							
Category 3	エネルギー関連活動	0.2%																																							
Category 4	輸送、配送（上流）	0.03%																																							
Category 5	事業から出る廃棄物	0.03%																																							
Category 6	出張	0.03%																																							
Category 7	雇用者の通勤	0.1%																																							
Category 9	輸送、配送（下流）	0.7%																																							
Category 11	販売した製品の使用	92.5%																																							
Category 12	販売した製品の廃棄	0.02%																																							
	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 カテゴリ11 : 2,603,000 [tCO2] 																																								

株式会社SCREENホールディングス

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p><リスク></p> <ul style="list-style-type: none">● 競合の優れたエネルギー効率の製品の開発、投入によるマーケットシェア損失に伴う売り上げの減少。 <p><機会></p> <ul style="list-style-type: none">● 優れたエネルギー効率製品の開発、投入によるマーケットシェア拡大に伴う売り上げの増加。● リチウム電池製造装置、燃料電池製造装置などCO₂排出削減に貢献する製品の開発、投入による売り上げの増加。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● SBT目標を設定することでパリ協定に整合する持続可能な企業であることをステークホルダーに対して分かり易くアピールできる。

株式会社SCREENホールディングス

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 次期CSR中期計画の気候変動に関する目標設定の検討を行うためにCSR部門とグループ会社の環境サステナビリティ部門が共同で支援事業に参加した。支援事業への参加に伴う経営への説明でSBTに関する議論が進んだ。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● 削減目標を設定するScope3 カテゴリ11の検証。● 再生可能エネルギーに関する方針、目標の設定。